



文学部

法学部

「深く」そして「広く」学び、
大きな翼で世界に羽ばたこう！

人 社 系 副 専 攻 プログラム

2023年4月から工学部建築学科が
参画し新たなスタート！

教育学部

経済学部

工学部
建築学科

「深く」そして「広く」学び、大きな翼で世界に羽ばたこう！

なぜ副専攻か？

戦後の日本や世界の政治や経済を支えてきた枠組みが次々と崩れ不安定化し、知的混乱と動揺が世界全体に広がりつつあります。こうした不透明な現代社会において、私たちは一体全体、何を学び、それを個人や社会の未来にどう活かしていけばよいのでしょうか。こうした問いかけに対して、人文学・社会科学が果たすべき役割はますます大きくなっています。

とはいえ現代社会の新しい動きは、これまでと同じ学問的な枠組みや学び方では正しく把握できないかもしれません。

そこで九州大学の文系4学部（文学部・教育学部・法学部・経済学部）は、それぞれの学問分野に蓄積された知的資産を相互に開放し体系的に提供する「文系4学部副専攻プログラム」を2018年4月に立ち上げ、2024年3月までに延べ90名の学生がプログラムを修了しました。

さらに、2023年4月からは工学部建築学科もプログラムに参加し「人社系副専攻プログラム」として新たにスタートしました。

人社系副専攻プログラムにより、九州大学の学生は、自学部で学ぶ深い専門性に加え、学部の枠を超えた人文・社会科学分野の知的広がりを獲得することができます。

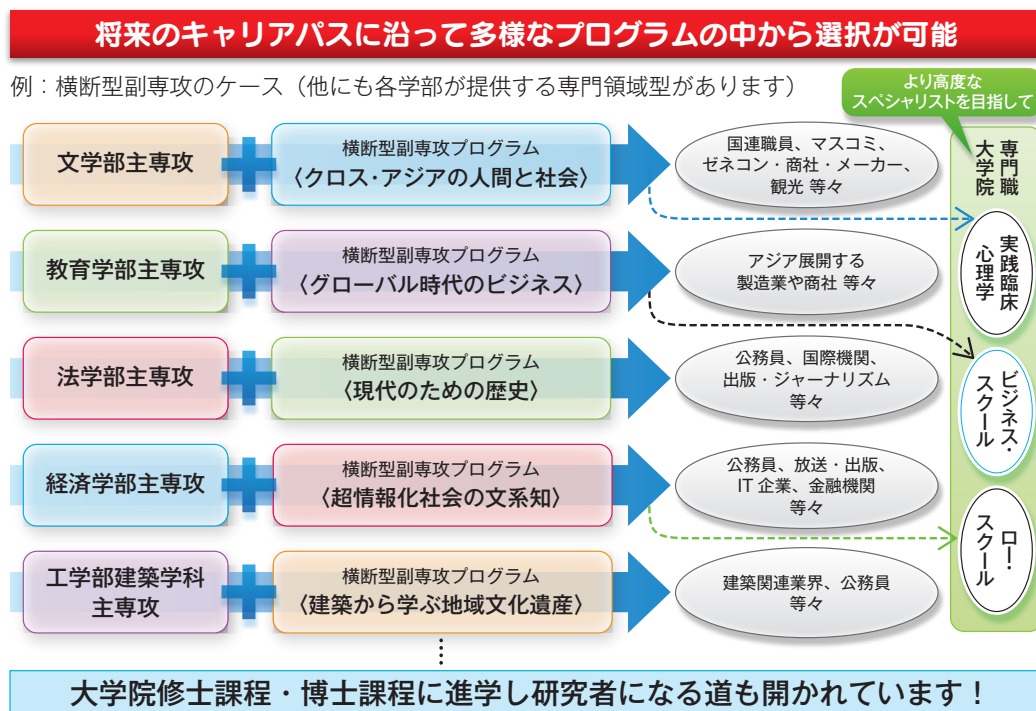
共に学び、大きくしなやかな翼で世界に羽ばたきましょう！

プログラムの詳細はホームページ(<https://commons.kyushu-u.ac.jp/sub-major/>)を参照



2年次から開始：「横断型」と「専門領域型」の魅力的プログラム

プログラムは、各学部の専門教育が始まる2年次からスタートします。「横断型」と「専門領域型」の19の魅力的なプログラムが用意されています。



(1) 横断型プログラム

大学入学後に、自学部の専門教育を学ぶ中で、さらに「歴史」「アジア」「情報」「ビジネス」「地域文化遺産」といった現代社会を解く重要なテーマに関心を持った知的な好奇心旺盛な学生に対して、自学部に籍を置いたまま2年次より上述のテーマに関して文系4学部及び工学部建築学科が提供する科目を広く体系的に学ぶ機会を提供します。

副専攻プログラム名	主要科目例
現代のための歴史	現代史入門，史学概論，イスラム史学，教育史，政治史，経済史等
クロス・アジアの人間と社会	Citizenship Education in Contemporary Asia I・II，アジア宗教思想，中国法，グローバル化とアジア経済等
超情報化社会の文系知	情報法，法情報学，ジャーナリズム論，教育とコミュニケーションデザイン，情報経済等
グローバル時代のビジネス	現代日本経済論，国際ビジネス，国際取引法，比較教育学，比較宗教学等
建築から学ぶ地域文化遺産	建造物文化財学 A・B，日本建築史概論，人文学基礎 I・II，教育文化史，行政学，日本経済史等

各コースが定める科目により 16 単位を取得し、プログラムを修了すると・・・

就職：自学部が提供する専門分野を深く学んだうえで、「歴史」「アジア」「情報」「ビジネス」「地域文化遺産」などの現代的テーマに関する（方法論も含めた）知的広がりを携えて社会に出ることができます。

大学院に進学：「歴史」「アジア」「情報」「ビジネス」「地域文化遺産」などの現代的テーマに関する広範な知的広がりをバックに、専門の研究を進めることができます。



5つの横断型プログラムが目指すもの

【現代のための歴史】 現代の日本社会・国際社会を理解し、そのなかで活躍するために、それぞれの地域・社会や産業分野・学問分野を過去から現在にいたる蓄積によって形成されるものとして歴史的に理解する力を、そうした視点を獲得するための方法論も含めて身につけます。

【クロス・アジアの人間と社会】 アジアという時空間や概念を軸とする「クロス・アジアの視座」から人間や社会を理解するために、隣国を含むアジア諸国との関係、さらにそのグローバルな文脈における位置や今後の在り方、そのなかでの人々の生き方への深い洞察力を身につけます。

【超情報化社会の文系知】 情報通信ネットワーク技術が日進月歩の勢いで高度化する現代社会において、それらの技術革新が様々な産業分野に及ぼす影響や、そこにおける規制のあり方を含めて、近い将来における社会のあるべき姿を今から考え、適切な社会制度を設計できるような能力を身につけます。

【グローバル時代のビジネス】 グローバル化が進む現代社会では、各国・地域のローカルで多様な文化や政治・経済・社会の内在的理解は欠かせません。地球上のどの地に身を置くことになっても、地域理解とビジネスに関する実践知をもって互恵的関係を構築できる「真のグローバル・ビジネス人材」としての力を身につけます。

【建築から学ぶ地域文化遺産】 地域文化遺産を通じて「建築」とは何か、また歴史的建造物を保存・活用していく手段を学び、国内外を問わず社会で活躍するための基盤的素養を歴史的建造物を通じて身につけます。

(2) 専門領域型プログラム

大学入学後、自学部の専門領域を学ぶに連れて、さらに他の人社系学部の専門領域にその知的好奇心が広がることはよくあるケースです。本プログラムは人社系他部局の専門領域をより深く学びたいと考える学生に対して、自学部に籍を置いたまま2年次より他学部の専門領域を体系的に学ぶ機会を提供します。

提供学部	副専攻プログラム名
文学部	哲学プログラム
	歴史学プログラム
	文学プログラム
	人間科学プログラム
教育学部	教育学・心理学から見た『個と多様性』
	教育学・心理学から見た『文化とシステム』
法学部	法の文化と歴史
	行政と法
	企業と法
	犯罪と法
	国際ビジネスと法
	政治
経済学部	経済学・経営学のツールで解く現代社会の諸課題
工学部建築学科	教養としての都市・建築学

各コースが定める科目により 16 単位を取得し、プログラムを修了すると・・・

就職：人文学・社会科学分野の二つの学問体系を携えて社会に出ることができます。

大学院に進学：自らの問題関心により近い大学院を選択でき、かつ大学院進学後も二つの学問的方法論を自在に駆使することができます。



FAQ

よくある質問

【基本編 いったいどんなプログラム?】

Q1 共創学部とどう違うのですか?

現代社会は、従来の学問体系の枠組みでは解決できない問題に直面しているという基本的な問題意識は、共創学部も人社系副専攻プログラムも共通です。人社系副専攻プログラムは、九州大学という総合大学の強みを生かし、文学・教育学・法学・経済学・工学などの学問体系と、それぞれの学問において培われてきた方法論(ディシプリン)をより重視しながら、この共通の目標に挑戦します。

Q2 文系4学部には国際コースもあるようですが、どう違うのですか?

文系4学部の国際コースは、各学部で学ぶ専門知識を、英語などのコミュニケーション力を養うことで「国際的」に展開できるようにすることを目的としています。人社系副専攻プログラムにも国際志向のプログラムはありますが、その趣旨は各学部で学ぶ専門知識に加えて、人文・社会科学分野全体の「学際的」な広がりを持った知識を体系的に身につけることにあります。両者は補完関係にありますので、国際コースに属する学生が、人社系副専攻プログラムを履修することも可能です。

Q3 工学部建築学科以外の理系学部や医系学部に所属する学生もこのプログラムを履修できますか?

人社系副専攻プログラムは、当面、九州大学の文学部、教育学部、法学部、経済学部及び工学部建築学科の何れかに所属する学生を対象に、人文学や社会科学を広く学ぶ体系的なプログラムとしてスタートします。理系・医系の学部所属の学生の皆さんは「基幹教育科目(その他)」として提供されている文系学部の授業を、個々の判断で履修することになります。

Q4 「チャレンジ21」というプログラムとの関係は?

九州大学には既にチャレンジ21という文理横断型の副専攻プログラムが存在します。当プログラムはチャレンジ21(学際コース)の理念を踏まえつつも、文系4学部及び工学部建築学科間に絞ったプログラムを体系的に提供し、文系4学部及び工学部建築学科に所属する学生に人文学・社会科学に特化した知的広がりを提供するものです。

【応用編 どうやって履修するの?】

Q1 副専攻プログラムを履修したいのですが、そのための特別入試のようなものがあるのでしょうか?

いいえありません。九州大学の文学部・教育学部・法学部・経済学部・工学部建築学科が実施する入試に合格して入学後、2年生に進級した後に履修することになります。

Q2 文系4学部及び工学部建築学科に入学したら副専攻プログラムは必ず履修しなければなりませんか?

文系4学部及び工学部建築学科に所属する学生は、先ず2年次に専門教育を開始する段階で、必ず19ある副専攻プログラム(2-3ページ参照)の何れかを選択し「仮登録」を行うことになります。その後、主専攻での学習の進捗状況や自らの将来像などを勘案しながら「本登録」を行い、プログラムでの学習をスタートさせることができます。本登録はマストではありませんが、強く推奨されます。

Q3 登録したにもかかわらずプログラムが定める単位を取得できない場合、卒業できなくなりますか?

いいえ、その心配はありません。本プログラムの履修が修了しなくても、各学部が定める卒業要件を満たしていれば、卒業には影響しません。

Q4 プログラムを全て履修したら何か証明書がもらえますか?

各プログラムに登録をした上で、当該プログラムに必要な授業を全て履修し単位を修得すれば、卒業時に授与される学位記(卒業証書)と一緒に、副専攻プログラム修了証を授与します。それにより、人文・社会科学を横断する広い知識を身につけた証として社会にアピールできます。優秀な成績でプログラムを修了した学生には、優秀賞が授与されます。

問い合わせ：人文社会科学系学務課

メールアドレス：jbxsenmon@jimu.kyushu-u.ac.jp